※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	政治･経済（数研出版）						
副教材等	政治・経済整理ノート(数研出版)、公共＋政治・経済用語集(清水書院)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年の「公共」、２年後期の「政治・分野」に続いて、３年からは経済分野と国際分野を学習します。経済は「少し難しい」と感じる人も多いようですが、経済は現実の社会で実際に行われている活動であり、日々の生活にも非常に関係のあることです。「公共」と「政治経済」に共通していることですが、現実の社会に興味・関心を持って、さまざまな知識や情報を得ることが理解を確実にする近道です。また、現在の国際社会では、グローバル化が急速に進んでいます。国際経済や国際政治にも決して苦手意識を持つことなく、積極的に取組んでみてください。

整理ノートの空欄を埋めることだけが授業を受ける目的ではありません。社会に出てからも使える知識･理解を身につけるために授業が行われているということを踏まえて授業を受けてください。もちろん、来年１月に実施される大学入学共通テストでの高得点をめざすことも大きな目標にはなります。

特に「政治経済」は現実の社会で実際に起こっていることを扱う科目です。まずは、できるだけ毎日、新聞やネットの配信ニュースを読み、できれば定時にテレビのニュースを見て、気になったニュースは理解できるようにインターネットなどで調べてみましょう。政治と経済は日々変化しています。多くの情報に接することが、最終的には共通テストでも役に立ちます。

2　学習の到達目標

ａ人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせる。
ｂ現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養う。
ｃ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識･技能	b:思考･判断･表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の政治・経済、国際政治、国際経済、に関する基本的な事項についてその知識を身につける。また、それらの本質や特質および動向を捉えられるように、基本的な概念や理論・仕組みを理解する。	現代の政治、国際政治、国際経済に関わる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察する。社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代の政治、国際政治、国際経済に関わるさまざまな資料を、マスメディアなどを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 第2節 現代経済のしくみ	・人間と経済活動 ・資本主義経済の発展と変容 ・経済活動の主体 ・市場経済のしくみ ・物価の動向 ・財政のしくみ ・金融のしくみ	a市場経済・財政・金融の仕組みを理解する。 b仕組みを理解したうえで、実際にどのように機能しているかを考察する。 c学習した経済理論などを、現実の経済活動に　関連づける。	定期考査 授業中の発問などへの対応	授業態度(発問に対す対応など) 定期考査 提出物	授業態度(積極的に授業に参加しているか) 提出物 授業中の積極的な発言
前期期末考査まで	第3節 日本経済と福祉の向上	・戦後日本経済のあゆみ ・中小企業と農業・食料　・公害防止と環境保全 ・消費者問題と消費者保護 ・労使関係と労働市場 ・少子高齢社会と社会保障	a日本経済の歴史や現状についての知識を高め、さまざまな課題を理解する。 b知識を活用して課題の解決方法を考察する。 c中小企業・農業・環境問題・消費者問題・労働問題・社会保障についての現状について考察する。	定期考査 授業中の発問などへの対応	授業態度(発問に対す対応など) 定期考査 提出物	授業態度(積極的に授業に参加しているか) 提出物 授業中の積極的な発言
後期中間考査まで	第3章 現代の国際社会 第1節 国際政治の動向 第2節 国際経済の動向 第3節 国際社会の課題と日本の役割	・国際社会と国際法 ・国際社会の組織化 ・戦後国際政治の展開 ・貿易と国際収支 ・国際経済のしくみ ・地域主義の動き ・核兵器の廃絶と軍縮問題 ・地域紛争と人種・民族問題 ・地球環境と資源・エネルギー　問題 ・発展途上国の経済と経済協力 ・日本の国際的地位と役割	a国際化・グローバル化を通して、国際社会の情報を積極的に捉えらえるようにする。 b国際化が進行するなかで、国際経済や国際政治に対する興味・関心を高める。 c国際収支表などの統計資料を理解する。	定期考査 授業中の発問などへの対応	授業態度(発問に対す対応など) 定期考査 提出物	授業態度(積極的に授業に参加しているか) 提出物 授業中の積極的な発言

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度